

## 和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

(2020. 3. 13)

文責：辻 興

新興感染症流行の折、会員の皆様はお元気にお過ごしでしょうか？

◆今年には新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な催しが中止となっており、3/22に予定されておりました全国有床診療所連絡協議会の令和元年度第4回役員会は中止となりました。尚、全国有床診療所連絡協議会総会は、現時点で9/12. 13に徳島（ホテルクレメント徳島）で開催予定となっております。また、2/22に大阪において近畿ブロック会議が開催されましたが、2/13に和歌山県湯浅町で新型コロナ感染が発覚し問題となった状況を考慮し、市橋研一ブロック長と協議の上、和歌山県有床診療所協議会からの参加は見合わせております。

◆和歌山県有床診療所協議会定款に従い今年も5月～6月末迄に令和2年度の社員総会（書面開催）を予定しております。8月29日（土）に会員の皆様に参集頂く「情報交換会」も現時点で開催準備を進めております。

令和2年度も会員の皆様のご支援、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◆社員総会決議事項である2020年度和有協事業計画（案）につき、次項に（案）を提示します。会員の皆様の御意見を下記回答用紙にて会員事務局（FAX：0739-22-0538）迄お願いします（回答締切3/23）。

☆

☆

☆

☆

回答用紙 「2019年度事業計画（案）への要望」

お名前： \_\_\_\_\_

要望事項：

返信先：会員事務局 FAX:0739-22-0538

回答締切 3/23

## 「2020 年度事業計画（案）」

1. 県下有床診療所の一致団結を促し、有床診療所が担っている病床機能の周知と更なる有効活用に向けて、県民や行政に情報発信を行なう。
2. 全国有床診療所連絡協議会との連携のもと、次世代に継承・永続可能な経営環境実現に向け、担っている役割に相応しい入院基本料引上げを求める。
3. 地域医療構想調整会議において、有床診療所特有の5つの病床機能の理解を促し、新たに6番目の病床機能として、「医療と介護を一体的に提供する機能」の周知に努め、医療政策上の有効活用を促進する。また、貴重な医療資源である産科有床診療所の病床削減審議からの除外を促す。
4. 在宅復帰率において病院回復期リハ病棟と遜色の無い実績を上げ、入院基本料も安い有床診療所での回復期リハの周知を促す。また、有床診療所「回復期リハ病床」の創設を働き掛ける。
5. 有床診療所病床を用いた、より安全・安心なショートステイの周知を行ない、有床診療所の介護事業参入を促す。
6. 協議会ホームページを活用し、各会員が地域で担っている役割を発信し、12月4日の「有床診療所の日」記念行事等を用いた広報活動を促進する。
7. 本邦唯一の法人格を有する有床診療所協議会として、他の都道府県有床診療所協議会の法人設立の為の情報提供や支援を行なう。
8. 近畿ブロック会活動への参加と、協議会未設立の奈良県、京都府、大阪府への設立支援を行なう。